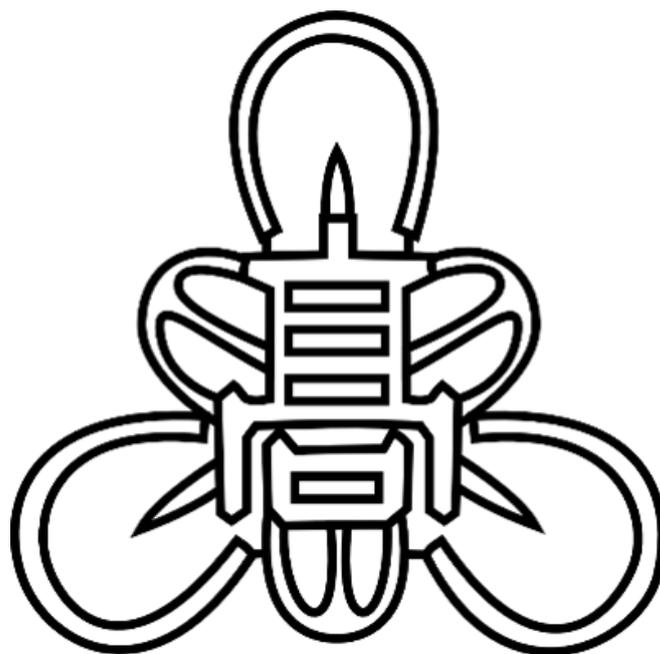


改訂版

学校防災活動マニュアル

令和5年 7月改訂版

(ダイジェスト版)



令和5年7月

神奈川県立横須賀高等学校

1 マニュアルの目的

1 目的

学校保健安全法第29条(危険等発生時対処要領の作成等)の規定に基づき横須賀高等学校の「学校防災活動マニュアル」を作成する。作成にあたっては、学校が立地する環境や、学校規模・校種・課程、通学する児童・生徒等の年齢や通学方法等に留意し、学校や地域の実情を踏まえた独自マニュアルを作成する。なお、県教育委員会が作成した「学校防災活動マニュアルの作成指針」及び「学校防災活動マニュアル(作成例)」の趣旨に沿って作成する。

学校保健安全法

第二十九条(危険等発生時対処要領の作成等)

学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の実情に応じて、危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領(次項において「危険等発生時対処要領」と言う。)を作成するものとする。

- 2 校長は、危険等発生時対処要領の職員に対する周知、訓練の実施その他の危険等発生時において職員が適切に対処するために必要な措置を講ずるものとする。
- 3 学校においては、事故等により児童生徒等に危害が生じた場合において、当該児童生徒等及び当該事故等により心理的外傷その他の心身の健康に対する影響を受けた児童生徒等その他の関係者の心身の健康を回復させるため、これらの者に対して必要な支援を行うものとする。この場合においては、第十条の規定を準用する。

2 災害対応の基本的な考え方

(1) 地震(津波)

いつ発生するか分からないので、すぐに対応できるよう、日頃からの防災意識の高揚と様々な場所や時間帯等での発生を想定した訓練が重要です。また、教職員はあらかじめ具体的な手順を理解しておくことが必要です。

(2) 風水害(土砂災害)・火山災害

あらかじめ発生が予測できますので、天気予報や気象庁の防災気象情報、市区町村防災部局からの防災情報など事前の情報収集が重要です。また、臨時休業や下校の判断は、早い段階で決定し、躊躇なく実施することが必要です。

3 活用にあたって

- 毎年、マニュアルに基づいた訓練の実施及び訓練結果に基づくマニュアルの検証・改善を繰り返し、より実効性の高い防災マニュアルに昇華させる。
- 学校で行う防災教育や防災訓練など、様々な場面で必要となるマニュアルの箇所を、抜き出して個別に活用する。(バインダー綴を想定)
- 必要な部分を抜き出してダイジェスト版を作成する、縮小して教職員に携行させる、拡大して壁面に貼付する、裏表にしてクリアケースに綴じ込んで備え付けるなど、より便利に活用できるように、各学校で創意工夫する。

2 防災情報シート

(令和5年5月1日時点)

防災情報シート（県立横須賀高等学校） ※学校情報をまとめ、教職員間で情報共有する。

○概要

学校名	横須賀高等学校				分教室名①						
					分教室名②						
住所	横須賀市公郷町3-109				電話		046 - 851 - 0120				
生徒数	令和5年 5月1日現在	特別支援学校	知的教育部門	小学部		中等部		高等部		分教室①	
			肢体不自由教育部門	小学部		中等部		高等部		分教室②	
		中等教育学校		1学年		2学年		3学年			
				4学年		5学年		6学年			
		高等学校	全日	1学年	276	2学年	276	3学年	277		
定時	1学年		18	2学年	23	3学年	10	4学年	6		
教職員数	令和5年 5月1日現在	92									

○避難所の指定等

	避難所 (指定避難所)	広域避難場所 (指定緊急避難場所)	広域防災活動拠点	広域応援活動拠点	その他①	その他②	その他③
指定の有無	○	○			バウンス 臨時離着陸場 指定なし	帰宅困難者一時滞在 施設	
協定書の有無	○	×	—		×	×	
市町村備蓄物資の有無	○	—	—			○	

○地域特性

海 抜	海拔表示	津波浸水の 有無	海岸線までの 距離	土砂災害 警戒区域	洪水浸水区域		
12m	○	無	5km	○	○		

○備蓄食料

公費	教職員	○ 3日9食	中等・高等 生徒用	—	特別支援学校 児童・生徒用	○ 3日9食
私費		無		○ 1日3食		無

○備蓄物品

衣料・寝具					日用雑貨					
毛布	アルミ 保温	肌着	紙おむつ		生理 用品	ロー ソク	哺乳 びん	トイレット ペーパー	懐中 電灯	鍋・釜
枚	枚	組	小児用 枚	大人用 枚	枚	本	本	巻	本	個
20	300	0	0	0	0	0	0	0	44	4

応急対策資機材

タオル	敷物	可搬型自家発電機 ①			可搬型自家発電機 ②			可搬型自家発電機 ③			投光機
		台	定格出力 kw (KVA)	購入年度	台	定格出力 kw (KVA)	購入年度	台	定格出力 kw (KVA)	購入年度	
0	0	1	900kw								4

応急対策資機材			生活用資機材					
可搬式 動力 ポンプ	土のう袋	防水シート	テント	仮設 トイレ	組立式 トイレ	簡易 トイレ	携帯用 トイレ	炊飯器
台	枚	枚	張	台	台	台	個	個
0	0	1	2	0	4	3	400	0

3 大規模地震発生時避難場所等一覧

学校名：

県立横須賀高校

◆ 大規模地震が発生した場合の避難場所

全学年

グラウンド

避難誘導・
安否確認班

全学年年次担当

◆ 津波浸水のおそれがある場合の避難場所

1年

D棟3階

避難誘導・
安否確認班

2年

B棟3階

3年

B棟3階

全学年年次担当

◆ 地域住民等避難者への対応及び情報提供方法

[避難場所]

グラウンド・武道場

情報機器(テレビ・ラジオ・スマホ等)により情報を収集し、校内放送や掲示等による情報提供を行う。

総務G

学校運営管理G

◆ 最寄りの避難所

①

公郷小学校 (横須賀市公郷4-5)

046-851-0029

②

公郷中学校 (横須賀市公郷5-81)

046-852-5766

③

5 緊急連絡と防災資機材

1 緊急連絡

(1) 教育局への被害状況の報告（方法①）

第1報 災害時緊急連絡システム（Yahoo!安否確認）による報告
（現在の指揮者、児童生徒等・教職員の在校数、被害状況の報告 等）

- 災害時など緊急時における教育委員会への報告は、まずは、第1報として、災害時緊急連絡システム（Yahoo!安否確認）により県教育局（総務室）へ状況を報告する。
- ただし、本システムのメッセージが配信されない場合は、県教育局からの要請の有無に関わらず、FAX（または電話等）で報告する。
- 被害状況等は、「被害状況等報告書」（資料編に掲載）により情報を整理する。
- 第2報以降は、状況により電話、FAX等で連絡をとりあう場合もあることに留意する。



(2) 教育局への被害状況の報告 (方法②)

F A X (または庁内メール、電話等) により報告する場合

○震度5強以上の規模の地震が発生した場合

確認	様式 (資料編に掲載)	報告内容	報告先
<input type="checkbox"/>	「被害状況等報告書」	教職員の参集状況、児童生徒等の被害状況等	教育局総務室
<input type="checkbox"/>	「財産損害発生・事故発生速報」	(施設等に損害が発生した場合) 損害状況、事後措置等	教育施設課

○「南海トラフ地震臨時情報」等により避難等を判断した場合

確認	様式 (資料編に掲載)	報告内容	報告先
<input type="checkbox"/>	「大規模地震による避難・誘導等状況報告書」	児童生徒等の保護者への引き渡し状況、臨時休業等の状況等	高等学校・中等教育学校は、高校教育課 特別支援学校は、特別支援教育課

○風水害等により臨時休業を行った場合

確認	様式 (資料編に掲載)	報告内容	報告先
<input type="checkbox"/>	「臨時休業実施報告書」	臨時休業を行った期日、理由等	高等学校・中等教育学校は、高校教育課 特別支援学校は、特別支援教育課

○上記以外で人的被害・避難所開設があった場合

確認	様式 (資料編に掲載)	報告内容	報告先
<input type="checkbox"/>	「被害状況等報告書」	避難者数や供与施設、被害状況等	教育局総務室

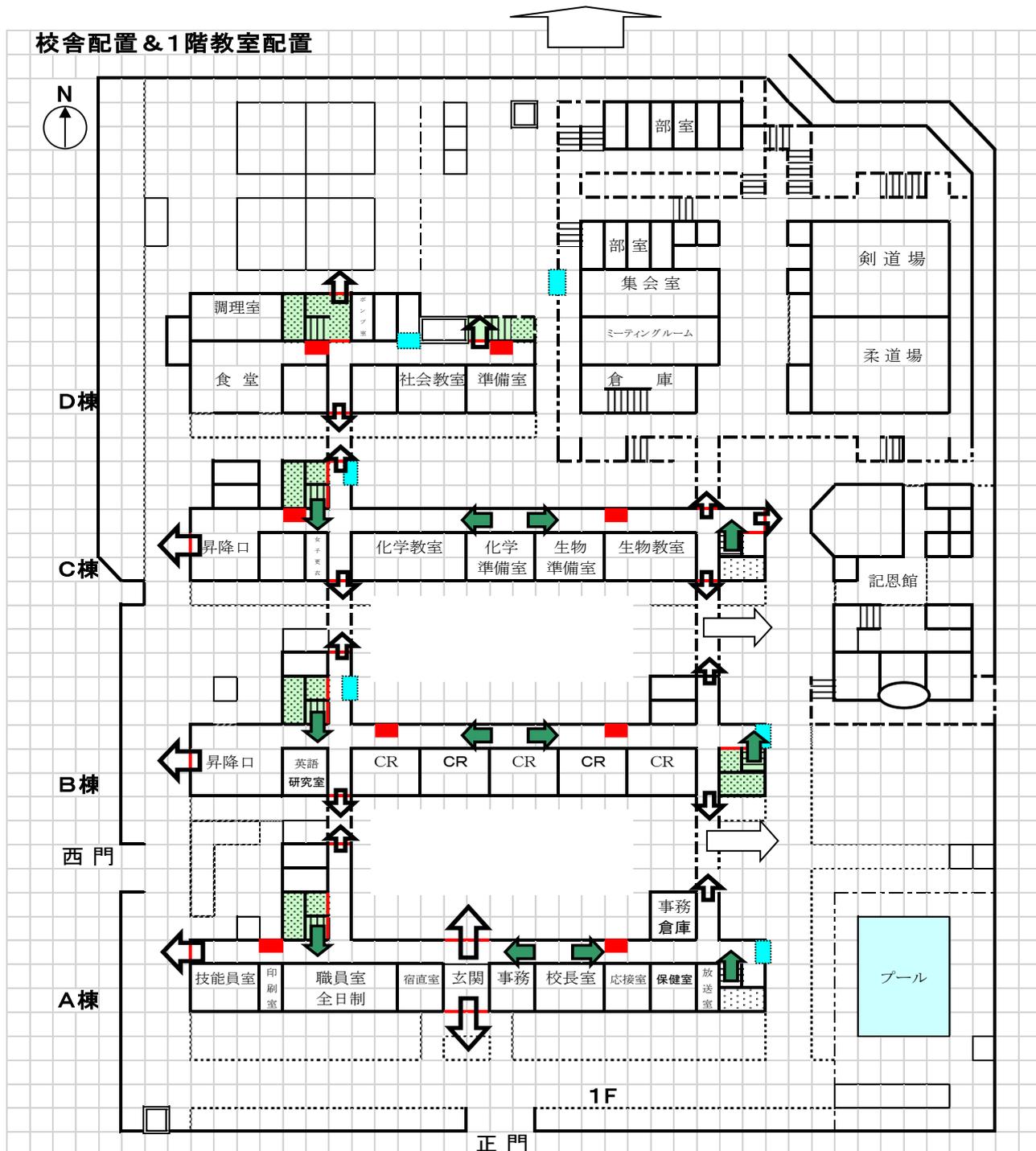
留意事項：F A X、電話が混み合っている場合は災害時優先電話等で報告する。なお、被害がない場合でもその旨を報告する。

留意事項：横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市以外の県立学校は、管轄の教育事務所（現地対策本部）にも報告する。

※大雨等によりグラウンド周辺の傾斜地に崩壊の恐れがある場合、避難場所は体育館とする。

4 避難経路図

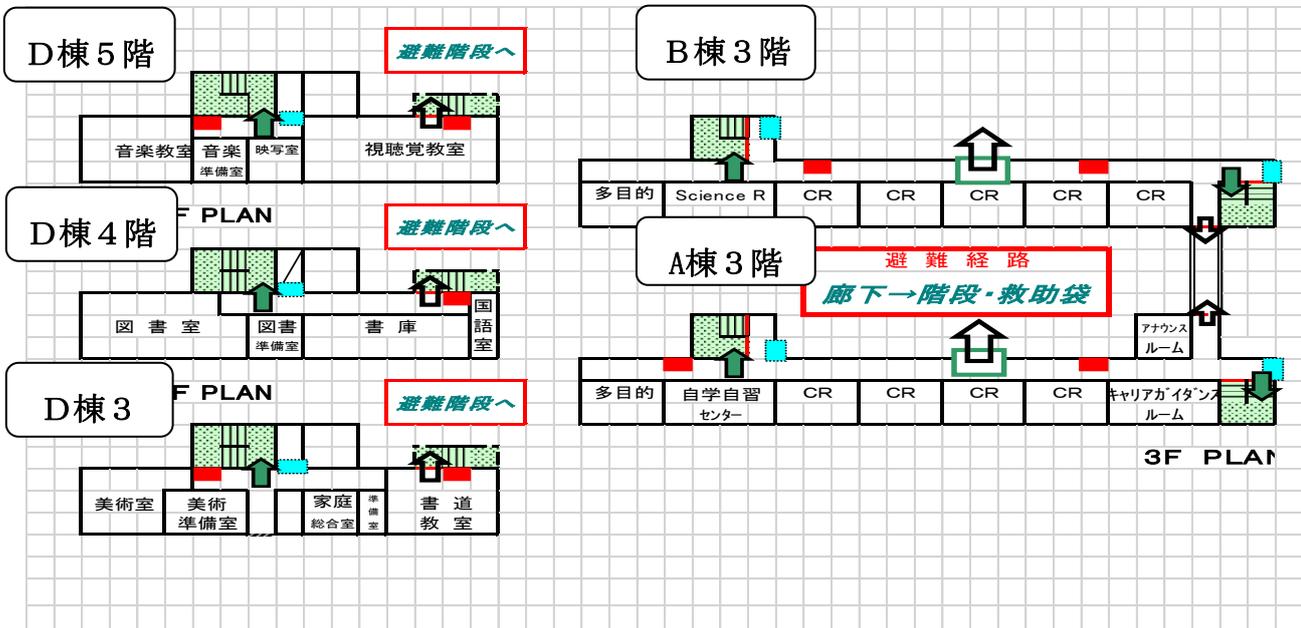
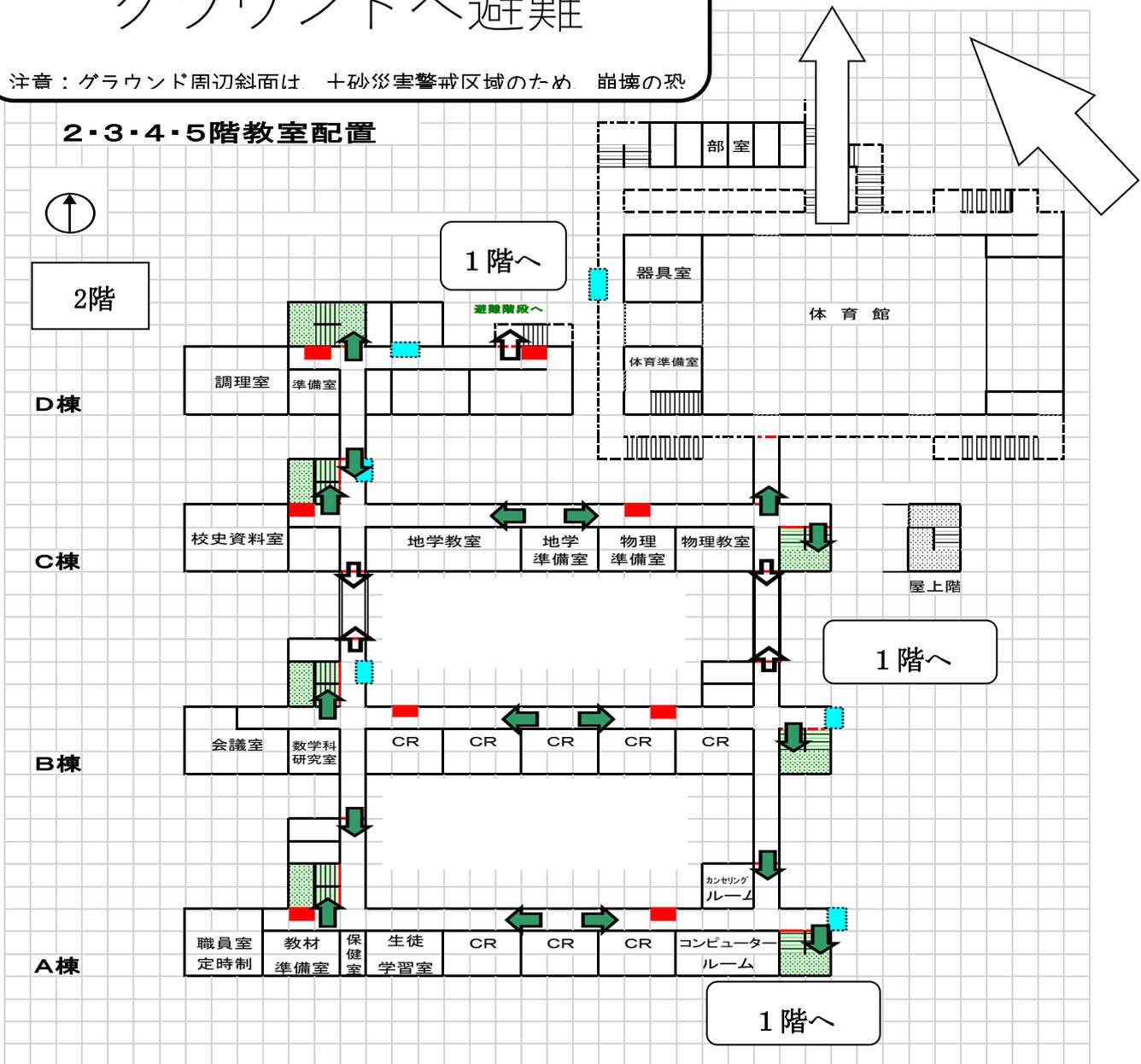
グラウンドへ避難



グラウンドへ避難

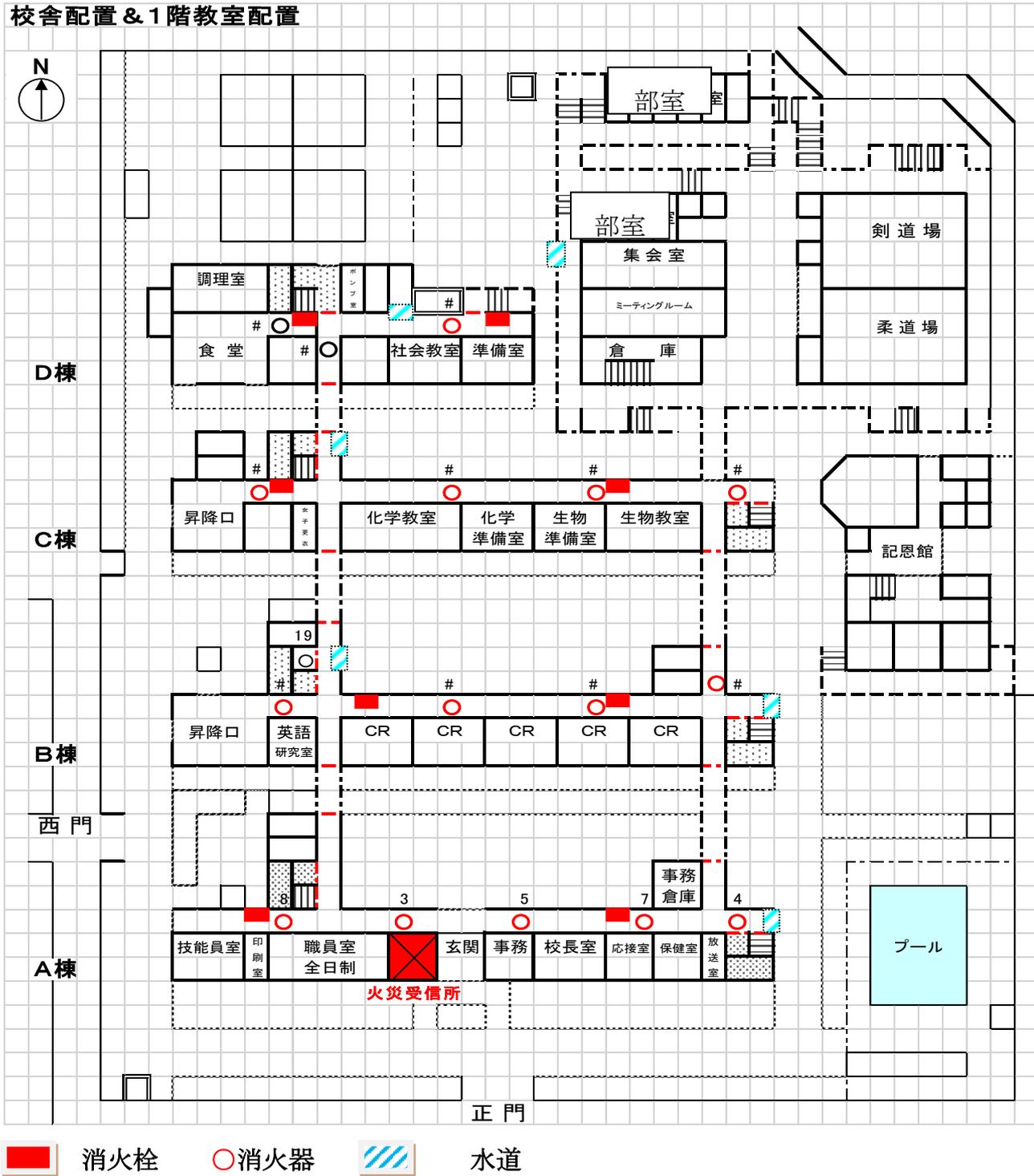
注意：グラウンド周辺斜面は 土砂災害警戒区域のため 崩壊の恐れ

2・3・4・5階教室配置



5 消火設備・避難器具・保健器具配置図

校舎配置 & 1階教室配置



- * A棟1階ゴミ処理場横の防災プレハブ倉庫に、定時制生徒用の非常食・水、及び防災ヘルメット、ランタン等の一部、非常用マンホールトイレを保管
- * セミナーハウス1階の和室側階段下倉庫に、全・定職員用非常食・水、及び非常用防寒アルミシート、若干の毛布、携帯ラジオ、ランタン等を保管
- * D棟2階被服室奥に新設した倉庫に、全日制生徒全学年三日分の非常食・水を保管

(以上の建物または部屋の鍵は、事務室にて保管)

7 防災教育の計画等

2 保護者への連絡方法

項目	内容	備考
連絡方法	全日制・定時制 アルカディア ライデンスクール 一斉メール配信	民間メール
登録者数 全日制	1993名	1年保護者356名 生徒268名 2年保護者347名 生徒280名 3年保護者366名 生徒293名 職員83名 複数登録有り
登録者数 定時制	89名	1年保護者10名 生徒17名 2年保護者15名 生徒9名 3年保護者7名 生徒5名 4年保護者3名 生徒5名 職員18名 複数登録有り
連絡内容	災害時の情報、臨時休業・始業時間の繰下げ等	
その他の手段	生徒緊急避難票により電話連絡	

